

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒラノテクシード京都プロダク	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市梅美台8丁目1番24	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、準コ	平均居住人員	45人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年9月 竣工	評価の実施日	2019年9月24日
敷地面積	38,574 m <sup>2</sup>	作成者	三谷誠一
建築面積	7,140 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月25日
延床面積	8,598 m <sup>2</sup>	確認者	松本真治



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①参照値</li> <li>②建築物の取組み</li> <li>③上記+②以外の</li> <li>④上記+</li> </ul>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 3.0</b>		
<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.6 	<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.2 	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 3.3 
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 2.7</b>		
<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.4 	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0 	<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.7 

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 敷地内の空地を広く取り、車の出入りを容易に行える計画とした。 山林等をそのまま残し、自然環境の維持に対しても考慮した。	<b>その他</b> 特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 事務エリアには、トップライトや窓を適切に配置し、自然光を取り入れる計画とした。	<b>Q2 サービス性能</b> リフレッシュスペース (2階ホール) に自販機置場を設置し、従業員が過ごしやすい空間となっている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 緑化に対して取り組んでいる。保有害林をそのまま残しており、自然環境を生かした計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 基準値をとるようにしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 構造を鉄骨造としており、柱梁、外壁等の分別が容易に行える。 設備配管等を躯体に埋設していない為、取替え等容易に行うことができる。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内の通路幅を広く取り、公道からの車の出入りがスムーズに行える計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される